

女性チャレンジ応援拠点だより 2021 10月

〇●〇●〇 コラム【学びの秋!】〇●〇●〇

長い「緊急事態宣言」が明けて、2021年も残り3ヶ月となりました。新年2022年を迎えると、「コロナ」3年目に入ります。ワクチン接種も進み、「新しい常態」は常態化した社会が本格的に動いていくに違いありません。チャレンジするみなさんの「新しい常態」は整ってきましたか。先月ご紹介した「パスツール」の弁をふたたび、『チャンスは心構えができていない人だけ最良する』です。



さて、10月の『チャレンジする人のニューノーマル』は、「〈レイトワーク=後期の仕事〉の視点を!」です。〈レイトワーク=後期の仕事〉とは、批評家の「エドワード・W.サイード」が表した概念です。年をかさね、人生後半に臨む・挑む仕事と理解すればいいのではないのでしょうか。いつの頃からか「人生100年時代」と言われ、「コロナ」で「AI時代」は加速して、「人生戦略」という言葉が出てくるほど、人間個々人、自分の一生を戦略的に考え、実践していくよう迫るこれからの社会です。若い頃は少々未熟でも回りが大目に見てくれますが、年を重ねると、人間個人としての真価がとわれます。誰しも、人生、『終わり良ければ総て良し』を望むところです。これからの時代は自分でしっかりその状況をつくっていく必要がある。そこで〈レイトワーク〉をあげました。

特に「女性チャレンジ応援拠点」を利用されるみなさんの多くは、ご自身のチャレンジはそのまま〈レイトワーク〉にあたるのではないのでしょうか。子育てなどで自分を脇に置いていた時期を送り、ふたたび自分の歩を進める、そのタイミングが人生後半の入り口。子育てや介護で中断していた創作活動を再開させ作品づくりの新しい次元をひらきたい、英語教師としての長年のキャリアに新しい学びをプラスして、自分ならではの教室を開いて生涯の仕事にしたい、等々。「過去と同じように」ではなく、自身の才覚をさらに引き出すような新しい経験や学び、そして実践をして、仕事に〈自分ならではの〉度を高める、それを〈レイトワーク〉と呼びたいと思います。

大いに学び、試行錯誤を重ねた先に、いぶし銀の自信と誇りがそなわり、『終わり良ければ総て良し』へとつながっていく。そういう状況をつくっていきましょう。ちなみに、女性の生産性のピークは、人生後半の45才から65才の20年続くと言われていています。一の努力で十の成果を生み出すようなパワーみなぎるピークが人生後半に用意されている。なんとも、ヤル気がわいてきませんか。

といったところで、今月はこれで終るとして、秋はセミナーも多く、学びの季節でもあります。異分野の知識やスキルが本業に役立つことも少なくありません。この秋、多様な学びをいたしましょう。

「女性チャレンジ応援拠点」もその範疇に入るかと思えます。みなさんのご利用をスタッフ一同、お待ちしております。

〇●〇●〇 感染対策をして開室しています〇●〇●〇

同時入室6名までとして、通常通り開室しています。初めての方も、お久しぶりの方も、お気軽にお越しください。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐5-6-25 クレオ大阪中央4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

